今年もあま~い「いちごがり」!

5月8日(金)、今年もまた、「中川ふるさと保 全会」の皆さんのご厚意により、小学校と幼稚園の 全児童・園児たちが「いちごがり」を実施しました。

この日は、用意されたバスに乗り、それぞれのいちごハウスに移動し、いちごがりを楽しみました。 子どもたちは赤く実ったいちごを一つ一つ丁寧に摘み取りました。そして、ときどきもぎたてのいちごをつまみ食いしながら、プラスチックのケースにもいっぱい摘んで帰りました。さらに、学校では皆さんが用意してくださったチョコレートやミルクでイチゴチョコフォンドューを作って食べました。いろんないちごの味わい方を体験し、子どもたちにとっては、二重の喜びとなりました。

この後、保全会の皆さんによるお米の学習をしま した。「おこめのあれこれ」と題して、クイズに答え ながら、お米の大切さについて学びました。

お家の皆さんも、子どもたちが摘んできたあま~ いイチゴのおいしさに、この日ばかりはほっぺが落 ちそうになったことでしょうネ!中川保全会の皆さ ん今年もありがとうございました。



伊集院のイチゴ忘れないで

日置市伊集院の中川ふるさと保全会(東善一会長)は、地元の子たちにふるさとの良さを知ってほしいと、特産のイチゴを通じた触れ合いを毎年続けている。今年は8日に年続けている。今年は8日に年続けている。今年は8日に年がりを体験。学校での試食が2年前のいちご大福、昨年の2年前のいちご大福、昨年の14年ゴのチョコフォンデュが準備された。

中川保全会 子どもたちと交流

を競うようにイチゴにつけて味わい、4年の松本璃子さんは「甘いイチゴがもっと甘くなっておいしい」と喜んだ。 米についての話もあり、生産する上で大切なことや消費があっている現状などを紹介した。東会長(公)は「ここでしかできない体験をすれば、将来思い出してくれるだろう。この地を離れても、いつか帰ってきてくれることを期待してやっている」と話した。

南日本新聞5月16日(土)より



やさしく摘むんだよ!



広いイチゴハウスの中で!



お米のこと分かったかな?

自分の命は自分で守ります!

交通事故が連日のように報道さ

5月1日(金)に不審者対応の避難訓練、14日(木)に交通安全教室をそれぞれ実施しました。学校では毎年、防犯に関する危機管理や、交通安全に対する意識の維持・向上を目指して、訓練や学習を実施しています。県内外を問わず、子どもの



自分の目で確かめて!

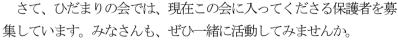
れ、後を絶ちません。また、不 審者による被害も少なくありまっ 分の命は自分で守る」という決意

いつでも駆け込んで!

審者による被害も少なくありません。子どもたちには、ぜひ「自分の命は自分で守る」という決意で日頃から防犯・安全への意識を持ち続けてほしいと思います。そして保護者や地域の皆様方には、今後とも子どもたちの安全を見守っていただきますようお願いいたします。

子どもたちによみ聞かせ!

今年度も「ひだまりの会」の皆さんによる本の読み聞かせが始まりました。月に1~2回程度、ボランティアの皆さんが、子どもたちに毎回ステキなお話を聞かせてくださっています。ときには、指ゲームやクイズなど楽しい遊びや話題も提供してくださいます。子どもたちも1年生から6年生まで、毎回楽しみにしています。





子どもたちもお話に夢中!

各自治会で運動会

ゴールデンウイーク期間中(下土橋は4月5日:雨天のため昼食会)各自治会で恒例の運動会が開催されました。今年は雨が多く、外で実施できなかったところも多かったですが、室内でゲームをしたり、競技を簡素化したりして各自治会で工夫して実施されていました。子どもたちもゲームや抽選会にハラハラドキドキしながら、地域の皆さんと楽しく交流を深めることができました。



パン食い競争(上土橋)